

ドングリすくすく春の訪れ

鈴木 誠治 77

(札幌市中央区)

今冬は災害級の大雪やコロナ禍など高齢者にとって憂うつな日々が続きました。そんな中、自宅の小鉢に植えたドングリが芽を出し、小さな葉っぱを広げたのです。春の使者の訪れかーと、妻と大喜びしました。

昨秋、高齢者の森づくりボランティアグループの代表が円山公園で集め、殺菌処理したメンバー約30人に配布したものです。私も里親として5個預かり、仲間の助言を受けながら育ててきたものです。冷蔵庫の野菜室での「冬越し」を経て2月下旬、真っ白で細い根と芽が顔を出したの

で、それぞれ小鉢に移し替え南側の出窓に置いておいたところ、3ヶ月ほどに育ち小さな葉が次々と出てきたのです。9月ごろまで各メンバーが家庭で育てた苗木を持ち寄り、江別の野幌森林公園内に植樹する予定です。今、国連の持続可能な開発目標(SDGs)推進が求められています。ささやかですが「陸の豊かさ」を守る一環にーとの思いで仲間と取り組んでいます。